

確認テスト

所属 _____

氏名 _____

介護職の医療的行為（傷の処置）

1) 傷の処置に関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () 介護職は、どんな傷でも処置をしてよい。
- ② () 傷口に異物が刺さっている場合には、医師に相談する
- ③ () 出血がある場合は、そのままにしておく。
- ④ () 傷を洗浄することは、皮膚の回復に有効である。

2) 傷の処置に関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () 感染している傷は、周囲が青くなっている。
- ② () 出血をしている場合は、出血部位を心臓より高くして、清潔なガーゼなどで圧迫する。
- ③ () 傷口は、ティッシュペーパーや脱脂綿などで押さえるとよい
- ④ () 片手で押さえても止血できない場合は、両手で体重を乗せながら圧迫止血をする。

3) 傷の処置に関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () 消毒薬は、新しい皮膚の再生に悪影響を及ぼすため、近頃ではあまり使われなくなってきた。
- ② () 傷口の洗浄には生理食塩水や水道水が用いられる。
- ③ () 外傷における傷は、どんなに小さな傷でも縫合しなければならない。
- ④ () 脳梗塞の治療薬などを内服している場合は、出血が止まりにくい場合があるので、圧迫はしない。

4) 傷の処置に関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () 近年ではガーゼを使わずに、ポリエチレンの素材のラップや流しの三角コーナーに使う水切り袋を使って傷を覆い、治す方法（ラップ療法）が普及している。
- ② () ラップ療法では、傷からの浸出液が多い場合には、紙おむつをラップでくむみ、ラップに穴をあけて、浸出液を紙おむつに吸わせるようにすると効果的である。
- ③ () 傷は最低でも3日に1回は、洗浄して状態を観察して、ラップを交換することが重要である。
- ④ () ラップ療法は、処置が簡単であるが、コストがかかることが欠点である

5) 事例問題

介護施設の機械浴で入浴介助をしていたが、右上腕が機械に引っかかり、5cmもの大きな傷ができてしまった。それほど深い傷ではなく、表皮剥離の深さであった。出血も数分圧迫するだけで止血ができた。主治医に電話連絡をしたが、今日は診察ができないので、明日、診察にきてくださることになった。

明日までは、ラップ療法で処置をしておくように指示があったが、どんなことに注意して、どのような対応をしたらよいか。

介護職の医療的行為（傷の処置）

1) 解答 ①×, ②○, ③×, ④○

〈解説〉

① × 介護職が処置をしてよい傷は軽微な傷である。 医師や看護師と相談しながら軽微であるかどうかを判断する。

軽微な傷とは、軽い切り傷、すり傷、やけど等、専門的な判断や技術を必要としない程度の処置が必要な傷のこと。それに対する包帯や絆創膏の貼付なども問題なく対応可能。

出血が止まらない傷や、縫合が必要だと考えられるような大きさ、深さの傷の場合には医療従事者に報告する。

③ × 出血がある場合は圧迫して止血する。

2) 解答 ①×, ②○, ③×, ④○

〈解説〉

① × 感染している傷は、周囲が赤くなっている。

③ × 傷口に付着してしまうため、ティッシュペーパーや脱脂綿などで押さえてはいけない。

3) 解答 ①○, ②○, ③×, ④×

〈解説〉

③ × 小さな傷の場合は縫合しないこともあるが、出血が止まらない場合や傷口が閉じない場合などには縫合することがある。

④ × 脳梗塞の治療薬などを内服していると出血が止まりにくい場合があるので、通常より長めに圧迫する。

4) 解答 ①○, ②○, ③×, ④×

〈解説〉

③ × 傷は最低でも1日1回洗浄、ラップ交換をすることが必要である。時間的に余裕があれば、1日2回や3回洗浄すればするほど傷の治癒の可能性は高まる。

④ × ラップ療法のは、処置が簡単であり、コストがかからず経済的である。

5) 解答例

圧迫をして止血ができたら、次は、傷の洗浄をする。浴室での事故なので浴室にてそのままシャワーを使って行う。シャワーの勢いは、強めがよいが、はがれた皮膚ができるだけはがれないようにシャワーをあてる方向に気をつける。お湯の温度は、通常の入浴の温度と同じでよい。

紙おむつにラップ（穴の開いた流しの三角コーナーの袋が便利）を巻いて、傷に貼る。翌日、主治医が来るまでの間は、浸出液が多くなり、漏れ出てこない限り、そのまま様子を見る。

【参考文献】

- 1) 岩下馨歌里：研修用DVD安心安全ケア教育 下巻，日総研出版，2012.
- 2) 介護人財育成ぶらすVol. 5, No. 7（特別編集号），日総研出版，2008.

教材作成

有限会社ファイブアローズ 取締役 岩下由加里

※本教材は「介護研修115の問題用紙」（日総研出版）の教材を大幅に加筆修正したものである。